



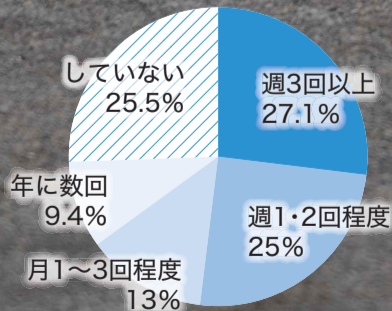
8 陸上・未續選手
特別インタビュー

特集 スポーツ いいね!



園庭を走り回る清和幼稚園の園児たち

市民の運動・スポーツ実施頻度



回答数 1065人
調査期間 2022年1月31日～2月20日

2021年度市民実感度調査抜粋

太陽の光に照らされた園庭に、子どもたちの元気な声が響き渡ります。園児たちは、汗で髪を湿らせながら、力強く地面を蹴り出し、友だちとの駆けっこを楽しんでいます。無邪気に走り回っていた幼い頃。公園や学校などで、自然に体を動かしていました。歳を重ねるうちに日々の生活に追われ、その頻度は少しずつ減っていきます。近年ではコロナ禍の影響もあり、子どもの体力低下も問題になっています。競技・趣味・健康・観戦。皆さんは今、どのようにスポーツと関わっていますか。市内には、体を動かせる施設や教室が多くあり、身近な場所で運動できる環境が整っています。特集では、スポーツを楽しむ人たちが普及・振興に取り組む団体、アスリートなどを取り上げ、スポーツの魅力を改めて考えました。

《2～8面に関連記事》
◎スポーツ推進課 ☎225-25031

あつぎのスポーツイベント

年間を通して多くのスポーツイベントが開かれる厚木市。主な行事を紹介します。

☎スポーツ推進課 ☎225-2531

1月 あつぎ駅伝競走大会

地区対抗・高等学校・一般・女子の部の四つの部門があり、約22kmの道のりをたすきをつないで競う。



3月 ちびっこマラソン・駅伝競走大会

小学生と保護者向けのマラソン・駅伝大会。マラソンには学年ごとに1.5km・1kmの部と、親子で走る1kmの部があり、駅伝は小学生4人でたすきをつなぐ。



9月 市民体育祭

各地区の代表選手がソフトボール、ソフトバレーボール、バドミントン、ゲートボール、卓球などで競い、交流する。



10月 あつぎマラソン

荻野運動公園を発着点に、自然豊かな秋の厚木路を眺めながらマラソンを楽しむ大会。3km・10kmのコースがある。



3・5・11月 スポーツなじみデー

荻野運動公園を会場に、ニュースポーツなどを気軽に体験できるイベント。モルックやポッチャ、バウンスポールなどが無料で楽しめる。



ボランティアに登録しませんか

スポーツ協会では市内のスポーツイベントの運営補助をするボランティアを募集しています。



あつぎウォークの運営に携わったボランティアの皆さん

《対象》20歳以上
《登録料》無料
☎南毛利スポーツセンターや協会HPにある登録用紙を直接または郵送、Eメールで〒243-0039温木西1-27-1スポーツ協会 ☎247-7212・✉info@atsugi-sports.comへ。



荻野運動公園

約16haの広さを持つ運動公園。体育館、競技場、テニスコートやプール、トレーニング室など、多様なスポーツ施設があります。野草園や多目的広場などのレクリエーション施設もあり、ウォーキングなどでも楽しめます。

☎荻野運動公園 ☎225-2900

体も心もずっと元気でいられるサポートを

荻野運動公園 神田 真由美さん (43・林)

公園にあるトレーニング室やプールで、エクササイズの講師などを行っています。以前は、病院のリハビリや介護の分野で働いていましたが、患者さんと接するうちに心身が衰える前にできることがあるはずと考えるようになり、今の仕事に就きました。この良いところは、気軽に来られて、多様な施設で個々の体の状態に合った運動ができることです。普段の生活や趣味をずっと楽しめるよう、心身を健康に保つお手伝いできたらと思っています。



教室を毎日開催、無料の送迎バスも



子どもの習い事

球技や水泳、ダンス、陸上競技など、幼児・小学生・中学生向けの習い事が充実。

大人向けの教室

ヨガやピラティス、ボクシングなど大人向けの教室をトレーニング室やプールで開催。申し込み不要で当日参加できる教室もあり。

無料の送迎バスが運行

トレーニング室またはプールを使う方が無料で使える送迎バスが各地域を運行。詳しくは荻野運動公園のHPへ。



川沿いに6ルートある健康交流のみはウォーキングにもお勧め

スポーツセンター

南毛利、東町、猿ヶ島にあるスポーツセンター。体育館やテニスコート、グラウンドなどがあり、誰でも参加できる教室も開催しています。

☎市スポーツ協会 ☎247-7212



いろいろなスポーツに出合う懸け橋に

市スポーツ協会 三木 秀幸さん (47・みはる野)

協会では、教室の開催や市内三つのスポーツセンター・及川球技場の管理・運営などを行っています。教室は、普段運動をしていない人にも来てもらえるよう、初心者向けの内容を取り入れています。トップアスリートを目指す子ども向けのアカデミーもあり、私もソフトテニスの競技経験を生かして講師を務めています。スポーツはたくさんの種目があり、年代を問わず楽しめます。皆さんが気軽にスポーツと出合える機会をつくっていききたいです。



子どもから大人向けまでの教室も充実

教室

子どもから大人向け、初心者から上級者向けなど、年齢・レベル別に年40回近くの教室を実施。

スポーツアカデミー

プロスポーツ選手などを講師に招き、未来のアスリートを育成するためのスポーツ教室を実施。

大会の開催

あつぎウォークや小・中学生対象のスポーツ大会など、幅広い世代が参加できる大会を開催。



特集 スポーツ いいね！ スポーツが身近なまち

市民の声 voice

普段運動している皆さんに聞いたスポーツが好きな理由

楽しい！上手にできたらうれしい

知らない人でも友達になれる (60代男性)

頑張ろうとできるようなと
うれしい (40代)

汗をかくのが気持ちいい。そのあとの
風呂が最高 (30代男性)

いくつになっても続けていれば
進歩がある (60代)

スポーツ施設マップ



●の施設の使用はスポーツ推進課 ☎225-2530へ。

公民館

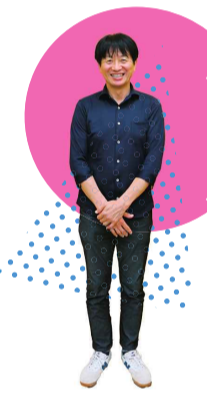
15の公民館と一つの分館に、室内運動ができる体育室などを備えています。利用には公共施設予約システムの団体登録が必要です。
☎社会教育課 ☎225-2513



住民の身近な場所で運動できる機会を

依知北地区体育振興会会長 澁谷 智さん (60・上依知)

体育振興会は公民館ごとにあり、地域でスポーツイベントを開いています。春・秋季健康まつりや市民体育祭、駅伝など、住民の方の身近な場所で運動できる機会を設けています。会に入り20年以上になりますが、もっと長く携わっている方もいてみんなでアイデアを出し合い活動しています。今年の運動会は、皆さんが参加しやすくなるよう内容を変えるつもりです。時代や地域の状況に合わせて、誰もがスポーツに親しめるようにしたいです。



運動会や球技大会などで地域住民の健康増進



春季健康まつり

グラウンド・ゴルフ、ソフトバレー、バウンスポールなど、さまざまな球技大会を実施。

秋季健康まつり

綱引きやリレーなどで競う地区の運動会。

地区ごとの催し

大山トレッキングや駅伝大会、サーチウォークなど、各地区の体育振興会が特徴ある事業を実施。

総合型地域スポーツクラブ

スポーツ振興や青少年の健全育成などのため、地域に設置されている子どもから高齢者まで参加できるスポーツクラブです。市内には二つのクラブがあります。

☎スポーツ推進課 ☎225-2531

SCD厚木スポーツクラブ



小島・飯山・荻野地区を中心に活動

OGINOスポーツアカデミー



三田・下荻野地区を中心に活動

施設を使いたい時は

マップで紹介した●の施設は「公共施設予約システム」から予約できます。
☎情報政策課 ☎225-2459

①利用者登録

本人確認書類を持ち、スポーツ施設などの窓口で利用者登録申請。事前にウェブで仮登録を済ませておくとう便利です。
※個人登録と団体登録があり、利用できる施設が異なります。



仮登録はこちら

②予約したい施設の抽選に申し込み

利用したい月の3か月前から抽選に申し込みます。利用したい日の2か月前の1日に自動的に抽選され、抽選日翌日の9時から空き施設の予約ができます。



チームの拠点の愛知県で練習に励む角野さん

角野さんがバスケットボールを始めたのは、小学4年生の頃。二つ上の兄の友人から誘われたのがきっかけです。それまで習っていたサッカーが思うように上達せず、競技の面白さが見いだせなかった頃でした。「同級生よりも背が高かったこともあり、たくさん点が取れてうれしかった」と始めた時を振り返ります。練習を重ねてできることが増えると、さらに楽しさを

成長への期待が原動力

バスケットボール選手
角野亮伍さん(27)

ボールを床に弾ませながらコートを駆け、大きな体を伸ばし放たれたシュートは高さ約3メートルのゴールへ吸い込まれていきます。プロバスケットボール選手の角野亮伍さんは、10月のシーズン開幕に向けて、チームメイトとの連携や戦術などを確かめています。

「夢を追いかけていく喜びを

学校から帰ると暗くなるまでボールを触ったり、競技経験者の父や兄と練習したりと、バスケットボール漬けの日々を送った角野さん。「バスケットが好きだから、苦だと思ったことはない」と話します。努力が実を結び、15歳で16歳以下の代表や日本代表候補に選出されました。常にチームの中心で活躍してきた角野さんですが、中学・高校で目標にしていた「日本一」には手が届きませんでした。高校の全国大会で得点ランキング1位になったものの決勝で敗れた時、父から「いくら点を取ろうと勝たなければ力不足」と言



市内の教室で「競争心を持つ楽しさ」が大切と中学生に話した

プロフィール
1997年生まれ。厚木第二小・厚木中学校出身。藤枝明誠高校(静岡県)・サザンニューハンプシャー大学(アメリカ)卒業。15歳で初めて日本代表候補に選出。現在、Bリーグ・シーホース三河に所属するプロバスケットボール選手。

4年目のシーズンを迎える角野さんは、練習中から仲間と声を掛け、いいプレーが出ればハイタッチをするなどチームの雰囲気づくりに力を注いでいます。「今でも成長を感じます。技術やチーム力、人間性など、成長への胸の高鳴りは、競技を始めた頃と変わっていません。目標は「このチームでの日本一」。人一倍強い思いを胸に、悲願達成に向けた角野さんの挑戦が幕を開けます。

われ、攻撃だけでなく守りや連携が重要な団体競技の難しさを痛感。個人の成績に加え、よりチームの勝利へのこだわりが強くなりました。「個人でもチームでも負けたくない」と悔しい思いを力に変え、高校卒業後、本場アメリカへの留学を経て、24歳でプロ入りを果たしました。

「原点の気持ちを大切に」

特集 スポーツいいね！ 夢を追いかけて

技術や体力などを磨き、競い合うスポーツ選手。その姿は私たちに感動や勇気を与えてくれます。大きな舞台上で活躍・挑戦する市内出身のアスリートたちに競技への思いを聞きました。

憧れていた輪の中で

アルペンスキー選手
田中佳子さん(48)

「建物がかきれいになってますね。私が通ってた頃と全然違う」「5年前建て替えたんだよ、ここに来るのは久しぶりだね。」話を花を咲かせるのは、アルペンスキー選手の田中佳子さん。チェアスキーを開発した神奈川県総合リハビリテーションセンターの沖川さん。田中さんはここでチェアスキーと出会い、パラリンピックに4度出場。2022年の北京パラリンピック冬季競技大会では、自己最高

できないことができるようになったときの達成感があること(20代男性)

市民の声
voice

普段運動している皆さんに聞いたスポーツの魅力

チームスポーツはみんなで目標を決めて力を高め合える。個人でも自分の成長を感じられ、自信がつく(10代女性)



開発者の沖川さん(左)とチェアスキーとの出会いを振り返る田中さん

のスキー複合(座位)4位に受賞しました。

夢をかなえたチェアスキー

田中さんがチェアスキーと出会ったのは22歳の時。生まれ持った病気の影響で幼い頃に両足の膝から下を切断し、義足の調整のため七沢の神奈川リハビリに通院していました。診察中、専門学校のスキー教室に行けなかったことを話すと、義肢装具士が院内の工芸室で開発したチェアスキーを見せてくれました。「こんなものがあるのかと思いい、その年の冬に初めて雪上でスキーを体験。友達を誘い、毎週末ゲレンデに通いました。最初はバランスが取れず倒れてばかりだった。でも何より友達と一緒に行くスキーが楽しくてしやうがなかった」と笑顔を見せます。小学生の頃から体育の授業は見学で、「みんなと一緒にやりたくて憧れていた」とこぼす田中さん。高校では陸上部

走ることに興味が湧いたのは、小学5年生の時。習っていた柔道の体力作りで走るうちに、楽しさを感じるようになり、楽しさを伝えるようになり、中学校では、長距離種目を走りたくて陸上部に入部。練習を重ねるとタイムも良くなり、さらに成長するために陸上競技が盛んな高校に進みました。高校では、朝練のために5時40分に家を出て、21時頃に帰る日々。「強くなりたくて進学したので、辞めたいと思ったことは一度もなかった」と話す木島さん。森や丘など、自然な起伏があるクロスカントリーコースなどでトレーニングを重ね、全国高校駅伝競走大会で走れるほどに成長しました。

走ることに興味を湧いたのは、小学5年生の時。習っていた柔道の体力作りで走るうちに、楽しさを感じるようになり、楽しさを伝えるようになり、中学校では、長距離種目を走りたくて陸上部に入部。練習を重ねるとタイムも良くなり、さらに成長するために陸上競技が盛んな高校に進みました。高校では、朝練のために5時40分に家を出て、21時頃に帰る日々。「強くなりたくて進学したので、辞めたいと思ったことは一度もなかった」と話す木島さん。森や丘など、自然な起伏があるクロスカントリーコースなどでトレーニングを重ね、全国高校駅伝競走大会で走れるほどに成長しました。

8月の早朝、ストレッチを終えた木島陸さんは、リズム良く荻野運動公園の外周コースに走り出していきます。「今の目標は箱根駅伝で走ること。まずは、10月の予選会のメンバーに入りたい。いい記録を出したいです」と朗らかな表情で語りました。

走る楽しさを胸に

立教大学 陸上競技部
木島陸さん(19)

順調に成績を残した木島さんですが、大学で陸上を続けるのが悩んだ時期がありました。「今も続けているのは高校の顧問のおかげ。『大学でも続けてほしい』と説得してくれたことに感謝している」と振り返ります。大学の練習は1日で30〜40キロ走り、走り量も増えましたが「今でも走るのには楽しい。何が楽しいのかは、まだ分からないけれど、笑顔を見せます。走る楽しさを胸に秘める木島さんは、箱根駅伝で走る目標に向かって今日も走り続けます。

ことと話す木島さん。「陸上を始めてから大きな故障がなく走っていて、毎日の積み重ねで少しずつ成長してきた。今は走っている際に足を痛めないよう、足元にも気をつけている」と話します。

「目の前の目標に向かって」



荻野運動公園競技場の外周を走る木島さん

スキーを続けるうちに日本チェアスキー協会から声が掛かり、本格的な練習を開始。広いコースを独占できる楽しさを知り、スキーに魅せられていきました。2006年、初めてパラリンピックへ出た際は「出場できることに舞い上がっていて、友だちや家族が喜んでくれることがうれしかった」と振り返ります。何度も大会を経験するうちにメダリストのレベルの高さを目の当たりにし、同じ練習では勝てない日本のチームを離れ、アメリカやニュージーランドなど海外で練習を重ねました。

「いろんな国の選手がいたけれど、スキーがしたい気持ちを共有できたから、言葉が違っても伝えられた。目指す道筋を見つけて大きく成長した田中さん。スポーツでつながる輪の中のことを実感した瞬間でした。」



雪上を駆け抜ける田中さん
写真提供/日本障害者スキー連盟

選手を応援しよう

全国大会等出場奨励金

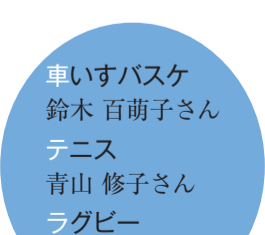
対象 公共団体などが主催の全国・国際大会に出場する市内在住の個人または市内で活動する団体
助成額 個人 国内=5000円、国外=2~5万円
団体 国内=1~5万円、国外=4~10万円
※大会のレベルや団体人数によって異なる。
申請書と必要書類を直接またはEメールで、スポーツ推進課☎8850@city.atsugi.kanagawa.jpへ。 詳細はこちら

市出身のスポーツ選手の情報市HPで公開。 詳細はこちら

厚木市ゆかりのスポーツ選手



北京五輪出場
スノーボード
大塚 健さん



車いすバスケットボール
鈴木 百萌子さん
テニス
青山 修子さん
ラグビー
中丸 彩衣さん



野球解説者
元プロ野球選手
多村 仁志さん



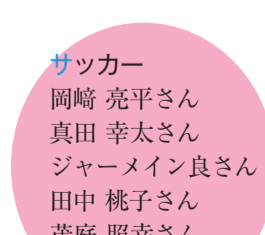
野球
井上 広輝さん
竹下 瑛広さん
田中 広輔さん
田中 俊太さん
(50音順)



東京五輪メダリスト
元ソフトボール選手
山田 恵里さん



プロボディーボーダー
我孫子 咲良さん



サッカー
岡崎 亮平さん
真田 幸太さん
ジャーメイン良さん
田中 桃子さん
茂庭 照幸さん
(50音順)



サッカー
永里 亜紗乃さん(左から)
源気さん 優季さん

過去に広報あつぎで取り上げた選手を紹介します。

特集 スポーツいいね！ 人やまちのために

競技としてスポーツに打ち込んだ経験や楽しんだ記憶は、ずっとその人の中に残り続けます。スポーツを通じて自分にできることを模索する人たちを追いまして。

仲間と共楽しくスポーツをすると仲良くなれる (10代男性)

市民の声 voice

普段運動している皆さんに聞いたスポーツの魅力

夫の仕事の都合で住む所が変わってもスポーツを通じて輪ができ、一生の友もできた。体の続く限り楽しみたい (70代女性)

自分ができないスポーツでも応援で盛り上げられるところ (40代女性)

地元と子どもたちを思っ

療育特化型放課後デイサービス
代表 永里 源気さん (37・鳶尾)

「ほらボールが向こうに行きたよ」「上手にゴールできた」。青空の下、グラウンドに元気な声が響き渡ります。子どもたちと一緒に運動を楽しむのは、障がい児向けの放課後デイサービスを運営する永里源気さん。「思いっきり自由に走り回る姿を見るとうれしくなる」と、笑顔で子どもたちを見つめます。

声援を力に

永里さんは、Jリーグや社会人チームで活躍した元サッカー



子どもたちに楽しいまなざしを向ける永里さん

選手。地方のチームに所属していた頃は、ボランティア活動などで地元と関わりがありました。まちを歩くと地域の方から多くの声援をもらったという永里さん。「応援が自身やチームの大きな力になった。プレイヤー、サポーターなどスタジアムのみならず喜怒哀楽を共有できるのがスポーツの魅力の一つだと感じた」。地域とつながりを持ちながら試合ができる喜びを知った永里さんは、チームが住民から愛され、応援してもらうためにできることは何か考え



市内の学校で特別授業を実施

地域のためにできること

市内で活動する社会人サッカーチームに移籍してからも、地域貢献への強い思いがありました。まず始めたのは子ども向けのサッカー教室です。スポーツが得意な子どもも苦手な子どもも楽しむように、レベル別のクラスを用意。「サッカーを通じて、運動する楽しさやコミュニケーションの取り方など競技以外のことにも触れてほしい」と語ります。

抛り所になる場所を作る

開所しようと思ったきっかけは13年。障がいのある息子が通っていた施設スタッフの手厚いサポートを見た時です。「ほんのささいなことでも褒めてくれて、いつでも前向きに接して



少人数で伸び伸びと療育を実施

くれた」。子どもだけでなく家族にも温かい言葉をかけて寄り添ってくれたのがうれしく、自分も同じような境遇の家族に力になれることはないかを考え始めました。デイサービスでは、できなかったことができるようになる体験をしようという目的で、スポーツを取り入れた療育を実施しています。「ここに来る子どもたちは普段「ダメ」できない」といった言葉をかけられやすい。だから自己肯定感が低く、チャレンジすることに臆病になりがち。「できる」を積み重ねて自信につなげてほしい」と話す永里さん。子どもたち一人一人の表情やしぐさを注意深く観察しながら、それぞれに合った接し方を模索しています。

永里さんの目標は、障がいがある子どもたちの一生を支えられる居場所づくりです。「いつかここに通っていた子が大きくなってまた遊びに来てくれたらうれしい」。生涯寄り添える場所を目指し、今日もスポーツを通じて子どもたちと向き合っています。

試行錯誤の日々

2006年にスポーツ推進委員になり、市のイベントや地域行事の企画・運営などに携わる前田さん。学生時代からスポーツが好きで、バレーボールやバドミントンに親しんできました。18年からセストシューター作りの中心的な役割を担うようになり、

厚木発祥の新たなスポーツを

スポーツ推進委員
前田 直継さん (64・長谷)



ディフェンスを避けて籠を狙う前田さん

「引き継いだ時点で約80回の検証を繰り返していた。完成するの不安だったけれど、厚木市発祥のニュースポーツを全国に広めたいと思った」と振り返ります。当時決まっていたルールは、コートの大きさやボールの使用、チームで戦うなど大まかなもの。前田さんたちは、より広く意見を集めるために推進委員で試合をしたり、市のイベントで体験ブースを設けたりしました。「実際にやってみると、シュートを入れる籠のサイズやラインの判断、パスの方法など、問題点が見つかる。みんな考えが違うのでまとめるのが難しかったです」。前田さんたちは、少しずつ改良を重ねていきました。

みんなが知る競技に

スポーツをゼロから作る難しさを乗り越え、約8年間かけて練られたセストシューターも完成が近づいています。「市民の方が笑顔でプレーし、汗を流しているのが開かれるようになってほしい」と語る前田さん。厚木市発祥のスポーツを広めるため、仲間たちと協力する日々は続いていきます。

セストシューター

- ・1チーム4人で、攻撃(2人)と守備(2人)に分かれる
- ・コートの大きさはバドミントンと同じ
- ・試合は前・後半の計9分間
- ・コートの中央にある籠を狙ってシュートする

☎スポーツ推進課 ☎225-2531
愛TV 10/1~

参加費無料
スポーツレクリエーションフェスティバル

セストシューターやベタンクなどが体験できます。

《日時》11月25日
《場所》荻野運動公園
☎不要

☎スポーツ推進課 ☎225-2531

ベタンクの様子

スポーツの どんなところが好き？

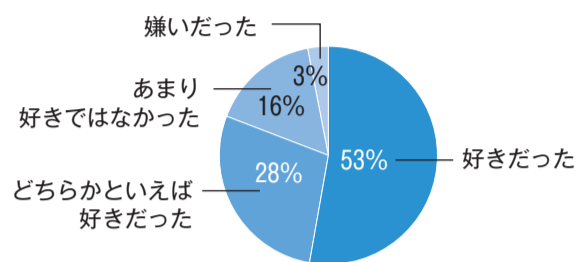
市民の声 voice

皆さんが思うスポーツの良さはなんですか。スポーツに関わっている方や運動を楽しんでいる方に聞きました。 ☎広報課 ☎225-2040

アンケート 「運動を好きな理由は？」

対象 普段運動をしている方
期間 8月1~18日
回答 642件

Q. 幼い頃から運動が好きでしたか？



運動を好きになったきっかけは？

卓球を始めてから運動が好きになった (10代女性)

運動神経が悪くて苦手だった。スポーツクラブで水泳を習うようになって、運動が好きになった (70代女性)

大学時代のサークルが楽しかったから (30代女性)

体育館のジムでエアロビクス体操の時間があり、適度な汗をかけた時の爽快感が良くて好きになった (60代男性)

妻を亡くし、家に一人で閉じこもるのが良くないと気が付きスポーツクラブに入部して大変楽しい

応援する人と選手が繋がれる

スポーツボランティア 坊良 節子さん (63・王子)



15年前、体育振興会であつぎマラソンのボランティアをした際、ランナーの集団が走ってるところを見て、なんて楽しそうなんだろう！と衝撃を受けました。それまで運動とは無縁でしたが、私も走りたいと思いウォーキングを始め、ボランティアにも申し込みました。

東京五輪や東京マラソンのボランティアなど、何度も経験しましたが、やはりマラソンが好きです。道沿から声援を送るとありがとう！と声が返ってきたりハイタッチに応じてくれたりと、選手とつながることが魅力です。元気をもらえる私のライフワークです。

嫌いだった運動が自信に

フェンシングクラブ運営 坂場 和代さん (55・恩名)



幼い頃から駆けっこはビリ、逆上がりもできなくて、体育の時間が嫌いでした。高校生の頃、アメリカ出身の英語教師に誘われ、ジムでトレーニングをしたら体つきが変わって、私にもできる！と自信になり、ランニングなどの運動を始めました。

娘も私と同じく運動が苦手でおとなしかったですが、フェンシングに出合うとのめり込み、全日本選手権にまで出場。娘のためになればと私も習い、練習相手をしているうちに自分が楽しむようになりました。昨年娘と立ち上げたクラブには、運動に自信のない子も来ますが、できることを見つけると自信がついて、よく笑い、明るくなっていきます。運動は苦手と思っている人にこそ、合うスポーツを見つけしてほしいです。

どんな人とも一緒に楽しめる

湘南ベルマーレサポーター 花田 佑輔さん (34・愛甲西)



年に6回ほど家族でサッカー観戦に行っています。サッカーは未経験でしたが、職場の先輩が観戦に誘ってくれたのがきっかけでチームや選手の魅力を知り、ベルマーレを応援するようになりました。一生懸命なチームの姿勢が好きで、最後まで走り続ける選手の頑張りにはいつも勇気もらっています。

最近では、子どもたちと試合を見て応援歌を歌ったり、タオルを振ったりと一緒に応援しています。家族みんなで夢中になり楽しめるのがうれしいです。年齢や立場の違う人と同じ気持ちになって応援できることがスポーツの魅力だと思います。

特集 スポーツ いいね!

人の魅力が現れる

体を動かして汗を流す、仲間をつくる、選手に声援を送る。皆さんがスポーツに引かれる理由は何ですか。特集の最後に、トップアスリートとして、指導者として、そして駆けっかが大好きな一人の人間として、自由に自分の道を走り続ける末續慎吾選手に魅力を聞きました。



荻野運動公園競技場で汗を流す末續選手

プロ陸上選手 世界陸上パリ大会200^{メートル}銅メダリスト
200^{メートル}日本記録保持者

すえつぐ しんご 末續 慎吾 さん

【プロフィール】1980年生まれ、熊本県出身。2003年に200^{メートル}20秒03の日本記録を樹立。同年の世界陸上で日本人初の銅メダル、08年の北京五輪では4×100^{メートル}リレーで銀メダル。現在は現役選手として競技会に出場しながら平塚市を拠点に自身のチームEAGLERUN (<https://eaglerun.jp/>)を設立。コーチング、ERC(写真)、企業・学校での講演、メディア出演など多岐にわたり活動。



2022年の北九州カーニバル陸上の100^{メートル}で40歳代の日本記録を樹立



平塚市で運営している一般向けのランニングコミュニティ「ERC」



笑顔でインタビューに応える末續選手

—荻野運動公園にもよく練習に来られると聞きました

自宅から車で40分程度と近いので、2年ほど前から利用しています。大きなスタンドがある競技場と違って、自然に囲まれていて酸素が多い感じがして気持ちいいです。一人で来ることも多くて、練習の合間には、芝生で寝転んでリラクゼーションしています。競技場の外の坂道もトレーニングに使っています。

—今目指しているものは

100歳まで走り続けて、これから年代別の日本記録を全部更新したいです。僕がこれから100^{メートル}で9秒台を出したり、日本代表になったりしたら面白いのですが、今年43歳になりましたが、年齢で不可能になることはないと思っています。

—走り続ける原動力は

やっぱり走ることに、駆けっかが好きだから。生活の一部ですね。

—走り始めたきっかけは

皆さんと一緒に運動会などで走っていました。本格的に走り始めたのは小学5年生の時に地元の陸上クラブに入ってからです。僕は人と話すのが苦手です。走ることにつながる手段でした。そんなに速くはなかったんですが、走ることで僕のことを覚えてもらえて、たくさんの人と出会い、世界が広がっていききました。

—高校・大学・社会人と記録を伸ばして日本一になり、世界でも活躍されました

10代、特に20代の頃は、自分の持っているものを世界にぶつけて挑戦する時期でした。いい記録や結果を出して、たくさんの人に期待してもらいました。早く走って期待に応えるのが自分自身の存在意義だと思っていましたし、実際にそれにできてきたと思っています。でも、ぎりぎりのところをやった結果、気付いたときには、体も心も限界を迎えていました。

—北京五輪で銀メダルを獲得した後、3年間ほど走ることから離れていた時期がありました

生活もままならない状態でしたが、足は競技場に向かい、でも『無理だ』と引き返すことの繰り返しでした。それでも、走るのを辞める理由はありませんでした。そんな中で、速さと結果だけを求めるのがアスリートの幸せではないと思うようになってきました。走ることで夢を与えたいとか、世界を平和にしたいとか大それたことじゃなくて、まだやれるからやる、走りたいから走ると、自由にシンプルに考えに行き着きました。

—今はイーグルランを立ち上げ、コーチングなどもされています

走ることを自由に表現し、その思いを広めるために立ち上げました。競技者のコーチングや、幅広い年代の教室、講演などをしています。高校時代の恩師は長距離が専門で、僕を学校に誘うときに「短距離はよく分からないけれど、一緒に陸上をやりたい。先生も勉強する」と言ってくれました。その言葉で進学先を決めました。入学してから、自分の考えばかりを話さないうで、僕たちの話をよく聞いてくれました。その関係性がベースになっていきます。選手が自分で考えて何かを見つけれられるよう、個々をよく見て助言したり走る姿を見せたりしています。僕が教わることもあります。

—走り続けて良かったことは

これで良かったんだと、今がよいと自分自身で思えることです。

—末續選手が思うスポーツの魅力は

「人」です。記録や勝敗だけがスポーツの魅力や価値ではありません。結果だけ見るとたつたら、ロボットが競ったつていい。いろんな境遇や経験を重ねた人が関わり、人間の姿を見せられるところがスポーツの魅力ではないでしょうか。人を見てほしいし、自分自身も良いところ、ダメなところを含めてさらけ出していききたいですね。

みんなで情報共有 スポーツタウン

スポーツイベントの検索や発信ができるサイトです。みんなで盛り上げて、厚木をスポーツの聖地にしていきましょう。

サイトでできること

- ・イベントを探す・開催告知
- ・チームの検索・メンバー募集など

詳細・登録方法はこちら

☎スポーツ推進課 ☎225-2531

「人」です。記録や勝敗だけがスポーツの魅力や価値ではありません。結果だけ見るとたつたら、ロボットが競ったつていい。いろんな境遇や経験を重ねた人が関わり、人間の姿を見せられるところがスポーツの魅力ではないでしょうか。人を見てほしいし、自分自身も良いところ、ダメなところを含めてさらけ出していききたいですね。

音楽の演奏に酔いしれる夏

「あつぎジャズナイト」を4年ぶりに2日間開催



会場には2日間で約1万1000人が訪れた

バンドの生演奏などが楽しめる「あつぎジャズナイト」が8月24・25日の2日間、厚木公園で開催されました。ステージには、市内にキャンパスを置く東京農業大学や日産自動車の社会人バンド、キャンプ座間を拠点に活動する在日米陸軍軍楽隊など総勢14グループが登場。軽快な演奏を披露し、観客たちを魅了しました。公園以外でも、市内3店舗でジャズイベントが開催され、まちを音楽で盛り上げました。

市外から訪れた小泉良太さん(36)は「ジャズは普段聞かないが、生の演奏だと音の振動が伝わってきて気分も盛り上がる」と笑顔を見せました。

いざという時に備えて

総合防災訓練に市民や職員ら1万6000人が参加

都心南部直下地震などの大規模な災害に備え、市内全域で総合防災訓練を実施しました。市民や職員ら約1万6000人が、避難所開設、防災資機材の取り扱い、初期消火などの訓練に取り組みました。



水消火器で使い方を確認

厚木中央公園では、市職員らが震度6強の地震を想定し簡易トイレやテント設置、土のうの作り方などを確認。市役所内では天井崩落を想定した救助訓練に当たりました。厚木神社境内での訓練には、自主防災隊ら約30人の住民が参加。消火や負傷者の救出救助訓練、機材の点検などに汗を流しました。

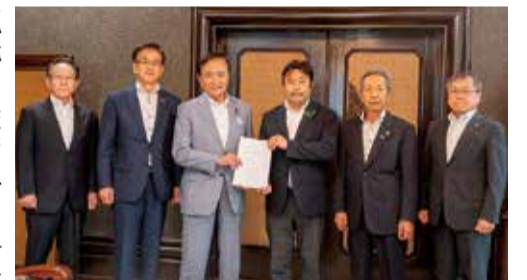
親子で参加した安田和真さん(46・厚木町)は「いざという時に備えて、消火器などの使い方を知っていると安心できる」と話しました。



県央姉妹都市構想の実現に向けて

5市町村の首長が黒岩県知事に要望書を提出

厚木・秦野・伊勢原市、愛川町、清川村の5市町村長が8月、神奈川県黒岩祐治知事に、広域連携の新たな取り組みへの財政支援や水源環境保全など25項目の要望書を提出しました。



「要望は真摯に受け止め回答したい」と話した黒岩知事

5市町村は、丹沢・大山を軸に行政が抱える広域的な課題に連携して取り組んでいます。観光や農業などの分野で連携をさらに強化するため、7月に「県央やまなみ地域における広域連携の強化に関する協定」を締結しました。

代表の山口貴裕市長は「財政支援をはじめ、観光振興や道路整備、当該地域の環境整備で県央やまなみ地域の5市町村が自主的・主体的に連携できるように、より一層の支援をお願いしたい」と要望しました。

類似の火災を未然に防ぐために

消防本部が市内の立体駐車場などを特別査察

8月に下荻野で発生した駐車場火災で100台以上の車両が焼損したことを受け、消防本部は同規模の施設を対象に特別査察を実施しました。査察は、類似の駐車場火災を防ぐために緊急で実施。消防職員が1週間で48施設を検査しました。

査察の対象は、移動式の粉末消火設備がある500平方メートル以上の駐車場。消防職員は、施設の管理者に改めて設備の点検方法や注意点を説明した後、消火設備をはじめ、標識・表示灯の状況などを検査しました。

消防本部では、検査で不備が確認された施設に速やかな是正を求めている他、防火管理体制の見直しや避難・消防訓練の実施など、いざという時の備えの大切さも呼び掛けています。



移動式粉末消火設備を検査する消防職員

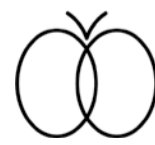


第7回 みんなで目指そう

カーボンニュートラル

カーボンニュートラル(CN)とは、地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出を減らし、植林や森林管理などによる吸収量を増やすことで、実質ゼロを目指す取り組みです。連載では、今日から挑戦できる取り組みを紹介します。

今月の挑戦 「デコ活」を知ろう!



▲「デコ活」のロゴマーク

デコ活は、CN実現に向けた新しい国民運動の愛称で、脱炭素(デカーボナイズーション)と、自然環境保全(エコ)を組み合わせた言葉です。これから広がるデコ活を先取りしてみませんか。

《デコ活の例》

- ① 地元産の食材を積極的に購入
- ② 近距離の移動は自転車や徒歩で
- ③ 太陽光発電の利用

CNプラットフォームでは、家庭でできるCNの取り組みをはじめ、デコ活の情報などを発信しています。

環境政策課 ☎225-2749



厚木はやぶさFCの選手たちと

厚木市をスポーツの聖地に。9月9日に荻野運動公園で開催された、関東社会人リーグのサッカーの試合を観戦してきました。試合にはJリーグ参入を目指す「厚木はやぶさFC」が出場し、皆さんの気迫あふれるプレーを見て、テレビとは違った魅力を感じました。

私自身、小学校から野球を始め、高校は陸上部で活動するなど、スポーツにいそしんできました。勝負に一喜一憂し、当時の仲間と会うと

施設の整備も必要です。充実した環境を整え、試合や合宿などで訪れる人が増えれば、まちの活性化にもつながると考えています。

これから、あつぎマラソンや地域の運動会、ハンドボールの最高峰である日本リーグの大会開催など、スポーツに触れる機会が多くなります。皆さんの生き生きとした活動を支援し、市に愛着を抱いていただけるよう、スポーツの聖地づくりに取り組んでまいります。

今も昔話に花が咲きます。スポーツには、健康の増進はもちろん、見た人を元気にし、勇気と感動を与える力があります。多くの皆さんにスポーツの魅力を知ってもらうため、トップアスリートの試合を数多く誘致していきたいと思っています。そのためには、

Zoom Up

10月は食品ロス削減月間

食材の無駄を減らそう

ごみの減量に向けて市では、食べられずに捨てられる食品（以下、食品ロス）を減らす取り組みを進めています。食品ロスは、生ごみの多くを占めるため、一人一人が食品の買い方や使い方を意識、実践することで大きな効果があります。できることから始めてみませんか。

2022年度に市内の家庭から出されたごみの量は5万1014トで、21年度に比べ約千ト減っています。一方、燃えるごみに含まれる生ごみの割合は依然高く、多くは未開封食品や食べ残しなどです（左下欄参照）。市では3月に食品ロス削減推進計画を策定。市民や企業などにも協力を呼び掛け削減を進めています。

「てまえどり」でロス削減

22年の市民アンケートでは、「生ごみの中にどのくらい食品ロスが含まれるか」という質問に約70%が「1割程度」と回答。しかし、生ごみのうち約4割は食品ロスで、大きな開きがあります。

「買物をしていく坪原桃世さん（44・三田）は「食品ロスを出さないために冷蔵庫の中身を確認してから買い物に行ったり、定期的に食材が届くサービスタを使ったりして、大量に買いだめしないようにしている」と話します。

市では店舗での食品ロスを減らすため、陳列棚の手前にある商品から取る「てまえどり」を推進。期限が短い商品から選ぶことで廃棄される食材を減らします。

循環型社会の実現に向けて

市では他にも、生ごみ処理機を購入する個人や設置をする事業者への費用の一部を補助するなど、食品ロスの削減に取り組んでいます（左下欄参照）。ごみは、私たちの生活の中で必ず発生しますが、食品ロスは買い物や残さず食べる意識、分別などで減らせます。みんなのできることから取り組みましょう。

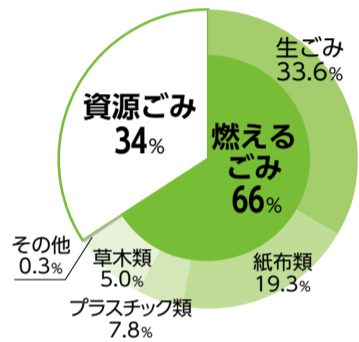
環境事業課 ☎225-2793



棚の手前から取ること食品ロスを削減

市内から出たごみの量 (2022年度)

家庭ごみ 5万1014トン



〈生ごみの内訳〉

調理くず	24.3%
食べ残し	5.3%
未開封食品	4.0%

参加者募集 リサイクル施設見学会

市内で出された紙類を資源化している施設を見学してみませんか。環境事業課 ☎225-2793
 日 11月10日
 場所 コアレックス信栄株式会社・アサヒ飲料富士山工場（静岡県）
 対象 市内在住の方25人 **無料**

10月25日までに環境事業課へ。抽選。

水分量を減らして生ごみ削減

生ごみ処理機の購入費を補助

生ごみの排出量を減らすため、処理機の購入・設置費の一部を補助します。

■個人

《対象》市内に住居登録があり居住中で、居住地に設置して適切に維持管理できる方

《対象処理機》家庭用生ごみ処理機（ディスポーザーは除く）

《補助額》上限2万円（本体価格の5分の4）※1世帯2台まで

■事業者

《対象》市内に事業所を有する事業者または1年以上市内に居住し事業を営む個人

《対象処理機》1日に10kg以上の処理能力がある生ごみ処理機

《補助額》上限200万円（設置費用の3分の2）※1事業所1台まで



購入日から1カ月以内に環境事業課や環境政策課、市HPにある申請書を、直接または郵送で☎243-8511環境事業課へ。随時受け付け。



個人向けの詳細はこちら



事業者向けの詳細はこちら

設置前に直接、環境事業課へ。

環境事業課 ☎225-2793

新型コロナワクチン接種のお知らせ

※情報は9月11日時点

国の方針に基づき、集団接種は縮小し個別接種を中心とした体制に移行するため、個別接種を検討してください。



詳細はこちら

令和5年秋開始接種

初回接種を終え、最終接種日から3カ月経過した生後6カ月以上の方を対象にオミクロン株XBB.1.5に対応した1価ワクチンの接種を実施しています。

■個別接種

《期間》2024年3月31日まで 《場所》市内約60医療機関 《ワクチン》ファイザー・モデルナ

■集団接種（12歳以上）

《期間》10月18日～11月11日の12日間 《場所》保健福祉センター 《ワクチン》モデルナ

いずれも接種券に同封するチラシや市HPに掲載。

初回接種

オミクロン株XBB.1.5に対応した1価ワクチンの接種を実施しています。

《接種場所》個別接種を実施する市内医療機関（詳細は市HPに掲載）

《ワクチン》①12歳以上＝ファイザー・モデルナ

②小児（5～11歳）＝小児用ファイザー・モデルナ（6～11歳）

③乳幼児（生後6カ月～4歳）＝乳幼児用ファイザー

市ワクチン接種コールセンター ☎0570-054-666

タウンガイド

10月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

11月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

☎=申し込み ☎=問い合わせ ☎=電話番号
 ☎=ファクス番号 ☎=Eメール HP=ホームページ
 ☎=講座予約システム(インターネットで申し込み可)
 愛TV/10/1~ =市広報番組あつぎ愛テレビ
 市役所への郵便物は「〒243-8511〇〇課」で届きます。

あつぎのしゃしん。



「60年の歴史に幕」

#8月31日撮影
 #市営水泳プール
 #思い出の場所
 #niceatsugi
 市公式Instagramで公開中



多様な種の多様な生きざま

知らなかった蛾の魅力



無料

私たちがよく目にする夜行性の蛾以外にも、周囲の環境に溶け込んで身を隠したり、毒をアピールするために目立たせたりと、蛾の奥深い魅力を感じてください。

☎あつぎ郷土博物館 ☎225-2515

■展示

期間 10月7日～12月3日
 内容 美しい種、不思議な種などの標本と写真の展示

■ギャラリートーク

期間 10月7・29日、11月12・29日 14時～
 内容 蛾のちょっといい小話会

◆観覧会「アカリデ、サソウ」

日時 10月21日 19～21時
 定員 30人
 内容 灯りに飛んでくる秋物蛾の観覧

いずれも場所はあつぎ郷土博物館。

●講演会「サムサニ、マケズ」

日時 12月3日 13時30分～15時30分
 定員 50人
 内容 冬に成虫が舞う蛾の不思議な生態に迫る

☎不要◆●電話またはハガキ、ファクス、Eメールに〒住所、講座名、代表者氏名、人数、電話番号を書き、◆10月16日●11月27日(消印有効)までに〒243-0206下川入1366-4あつぎ郷土博物館 ☎246-3005・☎8650-3@city.atsugi.kanagawa.jpへ。抽選。

《募集期間》10月1日から通年。詳細は市HPに掲載。申請後に家庭訪問あり。☎企画政策課 ☎225-2050。

あつぎ消防フェア

10月15日、10～15時。ぼうさいの丘公園。消防車乗車体験、スタンプリナー、記念撮影など。☎不要。☎警防課 ☎223-9367。



ごみ中間処理施設工事説明会

10月14日、15時～16時30分。環境センター。金田地区で2025年から稼働予定の施設の工事・事業の進捗を説明。☎不要。☎厚木愛甲環境施設組合 ☎297-1153。



《意見交換会》第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定

10月17日、19～20時。市役所本庁舎。☎不要。☎企画政策課 ☎225-2455。

厚木市 市民参加

検索

斎場施設見学会

10月20日、10時30分～12時。市斎場。施設見学と葬儀の説明。定員30人。無料。☎10月1～19日に市斎場 ☎281-8595へ。先着順。



放課後児童クラブ入所児童を募集

市内23小学校区にある放課後児童クラブで2024年度の入所児童を募集します。

《対象》①各学区内の小学生②保護者全員が就労(15時以降までの勤務)や疾病などで放課後に適切な保育ができない③保護者などが19時までに迎えに来られる一の全てを満たす児童《時間》平日(学校休業日を除く)=放課後～19時、

土曜・長期休業日など=7時30分～19時 ※日曜、祝日、夏休み中の学校閉庁日、年末年始は休所《費用》育成料=月額4000円(18時まで)、4800円(19時まで)クラブ費=月額3500円(おやつ代、教材費他)。☎こども育成課や児童クラブ、市HPなどにある申請書と必要書類を、郵送で11月20日～12月1日(消印有効)に〒243-8511こども育成課 ☎225-2582へ。



ホームステイボランティアを募集

海外友好都市などから学生などが市内に来た際に、ホストファミリーとして受け入れるホームステイボランティア募集します。

参加者募集 ニュージーランド短期留学プログラム

留学先の風土や文化に触れ、グローバルな体験をしてみませんか。

期間 3月9～23日(13泊15日)
 留学先 オークランド(ニュージーランド)
 内容 英語学習やニュージーランドの文化体験他

対象 市内在住の高校生10人
 費用 45万円(旅費、学費、保険料)



前回開催の様子

☎11月10日までに市HPにある申し込みフォームへ。選考あり。10月11日、19時からあつぎ市民交流プラザで事前説明会を実施。



詳細はこちら

☎企画政策課 ☎225-2050

野焼きの制限を正しく理解しよう

野焼きとは? 庭や畑など屋外で物を焼却すること(条件などの詳細は市HPに掲載)。



屋外焼却行為(野焼き)は原則禁止ですが例外で認められるケースもあります。野焼きを正しく理解し、気持ちよく生活できる環境をつくりましょう。

☎生活環境課 ☎225-2752

× 野外で焼却できない物

- ・合成樹脂(プラスチックなど)
- ・油脂類(鉱油・有機溶剤を含む)
- ・ゴム(廃タイヤなど)
- ・布
- ・木材(一部例外あり)
- ・紙

○ 例外で認められるケース

- ・キャンプ場でのバーベキュー
- ・学校行事などの炊き出し
- ・どんど焼きなどの地域の伝統行事
- ・消火訓練
- ・農業従事者の稲わら、もみ殻、剪定枝などの焼却 など

インターネットモニターからの意見を紹介



インターネットモニター募集

厚木市 インターネットモニター

☎広報課 ☎225-2043

9月1日号「広報あつぎ」を読んで

◆表紙を見て絵を描きたくなった/70代男性 ◆給食で地元の食材を使うのは良い取り組みだと感じた/60代男性 ◆青空おやつ取り組みを見て優しさを増やす仕組みだと思った/60代女性 ◆より多くの人手を確保することで安心して子どもを預けられる/50代女性 ◆ハープ奏者の方の音楽に対するキラキラした気持ちがすてきだった/40代女性 ◆関東大震災発生当時の写真が載っていて興味深かった/20代男性

編集後記

アンケートで幼い頃運動が嫌いだったと答えた方に多かったのは、出来なくて恥ずかしかった、という意見。私は陸上部に入っていましたが、良い成績じゃないと恥ずかしいと思う気持ちがどこかにありました。末續選手の記録や成績に縛られない姿を見て、私が今から練習して大会に出ることもできるんだな、と新鮮な気持ちになりました。恥ずかしさを超えるとスポーツはもっと面白いのかもしれない/前場



第31回野外彫刻造形展 あつぎ青空アート展

10月8～15日 ぼうさいの丘公園

秋空の下、プロの作家や子どもたちが作った作品の展示やワークショップなどを開催します。
☎文化生涯学習課 ☎225-2508



■かざぐるまアート作成教室

《日にち》10月8日
《内容》世界に一つの風車作り
《対象》中学生以下先着50人
《費用》無料

■木の実のアート教室

《日にち》10月9・14日
《内容》木の实を使った小さなオブジェ作り
《費用》1個150円(材料費)

■手形アート作成体験

《日にち》10月8～15日
《内容》自分の手形でアート作品を作る
《費用》無料

■のどて野点

《日にち》10月14・15日
《内容》抹茶とお菓子でおもてなし
《費用》無料

■いずれも時間は10～15時。場所はぼうさいの丘公園(雨天時はセンター施設内)。
☎不要。

詳細はこちら



愛TV 10/7～



10月22日開催 環境フェア & 動物フェスティバル



同日に厚木中央公園で環境や動物に関する二つのイベントを開催します。

■2023あつぎ環境フェア

☎環境政策課 ☎225-2749

《内容》団体・事業者の取り組み紹介やソーラーカー・EVゴミ収集車の展示、押し花ハガキ作りや間伐材工作、市内産の野菜・古本販売など

■動物フェスティバル神奈川 2023 in あつぎ

☎生活環境課 ☎225-2750

《内容》保護犬猫の譲渡会、動物愛護やペット防災、野生動物に関する展示、盲導犬の実演、動物に関連した雑貨・チャリティグッズの販売など

いずれも時間は10～15時(荒天中止)。
場所は厚木中央公園。

市民ふれあい
マーケットを同時開催

時間 10～14時(雨天中止)
内容 日用雑貨や衣料品などの不用品を50店舗が販売

☎環境事業課 ☎225-2793

環境フェア 動物フェスティバル



30周年 自然歳時記

●オオスカシバ● スズメガ科

オオスカシバは、羽化すると鱗粉を落とし透明な羽になる昼行性のきれいな蛾。羽を開くと50～70cmほどになる。飛翔力が非常に強い。幼虫の食草はクチナシの葉/広町緑地周辺で見つけた。
写真・文/吉田文雄



野生化したキバナコスモスの花が咲き、チョウやハチが吸蜜を楽しんでいる。クマバチが来ると重さで茎が曲がるが、スズメガの仲間のホシホウジャクは長い口先を使ってホバリング(空中停止飛行)しながら上手に蜜を吸っていた。ほんのりと甘い香りのアベリア

やカクトラノオのように筒状の花弁の奥に蜜があると、オオスカシバはホバリングしながら蜜を吸う。キバナコスモスは蜜が目前にあるので、長い前脚を花弁にちょこんと乗せ、黄色に染まった口先でおいしそうに吸っていた。花と虫の美しさに時を忘れ見とれた。

厚木市の人口
(9月1日現在)



世帯数 10万4848世帯(前月比41世帯増)



人口 22万4098人(前月比43人減) 男11万5473人・女10万8625人